

『CGL NEWS Ⅲ』は、第3期環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信しております。

<目次>

1. 平成21年度自動車環境配慮推進事業の募集について(環境省)
2. 「オゾン層観測報告:2008」を公表(気象庁)
3. カーボンフットプリントに係る催事の紹介(JILS)
4. 第5期グリーンロジスティクスエキスパート講座(東京)
ー7月7日(火)より開講ー (JILS)

★-----
平成21年度自動車環境配慮推進事業の募集について(環境省)

★-----
環境省は、窒素酸化物や粒子状物質、CO₂の排出量の削減に関する事業者の自主的な取組を促進し、燃費基準達成かつ排出ガスに係る新長期規制適合のトラック・バスの普及を図ることにより、大気中に排出されるCO₂等の排出量を削減する「自動車環境配慮推進事業」を実施する事業者を募集しております。(「平成20年度自動車省CO₂対策推進事業」から名称変更。)

具体的には、CO₂等の排出抑制に関する計画的な取組を行う事業者を募集し、計画的な取組として認定を受けた事業者に対し、燃費基準達成かつ排出ガスに係る新長期規制適合のトラック・バスの導入に係る費用の一部の補助を実施します。

詳細は下記環境省ホームページをご参照ください。
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11028>

★-----
「オゾン層観測報告:2008」を公表(気象庁)

★-----
気象庁は、オゾン層の保護及びオゾン層破壊による影響を把握するため、上空のオゾン量と地上の紫外線量の観測を長期にわたって続けており、世界及び日本のオゾン層・紫外線の状況とその長期変化傾向に関する詳細な解析結果を毎年「オゾン層観測報告」として公表しています。

このたび、2008年の状況について取りまとめ、「オゾン層観測報告:2008」として公表しました。主な内容は次のとおりです。

- ・世界のオゾン全量の推移をみると、1980年代を中心に減少が進み、大規模なオゾン層破壊が始まる前と比べて現在も少ない状態が続いている。2008年のオゾン全量の世界の分布をみると、赤道域の一部を除くほとんどの地域で参照値(1979~1992年の平均値)より少なかった。
- ・南極オゾンホール(最大面積など)の変化を長期的にみると、依然として大きい状態が続いている。
- ・紫外線については国内3地点(札幌、つくば、那覇)の観測によると、札幌は長期的にみて、1990年代初めから統計的に有意に増加している。つくばと那覇についても、長期的に緩やかな増加傾向を示している。

詳細は下記気象庁ホームページをご参照ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/press/0904/24a/ozon2008anu.html>

★

カーボンフットプリントに係る催事のご案内(JILS)

★

皆様ご存知のとおり、京都議定書におけるわが国の国際公約遵守に向けて、2008年3月に「京都議定書目標達成計画」が改定されました。

その中の1項目として「二酸化炭素排出量の見える化の推進」が謳われており、その具体的な施策として、昨年度より「カーボンフットプリント」に係る検討が経済産業省を中心に進められております。

「カーボンフットプリント」とは、商品等の調達から生産、物流、販売、使用等のライフサイクル全体におけるCO2排出量を算定し、マークを使って表示するもので、事業者においては、サプライチェーンを構成する企業間で協力してCO2排出削減に努め、消費者においては、表示された情報を利用して自らの消費生活を低炭素なものにかえることをねらいとしたものです。

今回、JILS主催の「SCMシンポジウム2009」のセッションBにおいて、「カーボンフットプリント」に係る小売側の事例等をご紹介します。
環境会議の皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

<SCMシンポジウム2009 セッションB>

日 時:2009年5月21日(木)14:00-15:00

会 場:東京ビッグサイト 会議棟 レセプションホール

タイトル:

「第一約束期間におけるコープネットの温暖化防止自主行動計画
～総量削減へのチャレンジ～」

講 演 者:生活協同組合連合会コープネット事業連合 総合企画
環境政策 次長 高多 洋 氏

参加料金:5,250円 / 1セッション(1名・消費税込)

詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.logistics.or.jp/scm-fair/attend/symposium.html>

*その他、本シンポジウムでは、5月21日(木)の特別講演におきまして、アサヒビール株式会社 専務取締役 本山 和夫 氏をお迎えし、「アサヒビールの経営戦略とSCM改革」についてご講演いただきます。また、5月22日(金)のセッションは、グローバル、トレーサビリティのテーマで構成されております。

*CGL グリーン物流研究会の6月度会合におきましても「カーボンフットプリント」を取り上げます。

★

<環境負荷低減とコスト削減を推進する実務リーダーを育成>

第5期グリーンロジスティクスエキスパート講座(東京)

-7月7日(火)より開講-

★

JILSでは、物流・ロジスティクス分野における環境負荷の現状を定量的に把握し、その低減のための循環型システムを計画立案、推進、評価できる人材の育成を目的として、「グリーンロジスティクスエキスパート講座」を本年7月より

開講いたします。

本講座を修了し、所定の試験に合格された方には「グリーンロジスティクス管理士」の資格が授与されます。これまでに80社111名の方が取得され、省エネ法(運輸分野)で求められている省エネ責任者として自社における省エネ計画等の取りまとめ、あるいは本講座で各自が作成する「環境負荷低減施策の実施計画案」の実践等、各企業で活躍されております。

環境負荷とコスト削減の両立を推進し得る人材の育成のために、本講座をぜひご利用ください。

(本講座の特長)

- ・ロジスティクス領域における環境対応を担う実務リーダーに不可欠な専門知識を習得できるカリキュラムとなっております。
- ・実践を念頭においた受講者参加型のプログラムを下記のとおり豊富に取り入れ、実践経験豊富な講師より指導を得られます。
 - 自社業務に関連する法令のレポート、及び発表
 - グループ討議による環境負荷低減施策の立案、発表(計3回)
 - 自社における環境負荷低減施策の実施計画案作成

【会期】2009年7月7日(火)～12月11日(金) 12日間

【会場】東京都内会場

【定員】50名

【対象】製造業・流通業・物流業のロジスティクス・物流・環境部門のリーダー層

【受講料】JILS会 員:294,000円(税込)

JILS会員外:367,500円(税込)

※物流技術管理士、国際物流管理士の資格取得者、またはグリーン物流基礎コースの修了者には優待割引があります。

【問合先】本部 人材教育部 TEL:03-5484-4021

詳細プログラム、これまでの資格取得企業一覧等は、下記URLをご参照ください。

(PDF1.5MB)

www.logistics.or.jp/education/seminar/pdf/2009/09h_BA0914_GLE5.pdf

*****CGLNEWS Ⅲ 配信について*****

■本メールは第3期ロジスティクス環境会議
代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元:社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は:cgl@logistics.or.jp

(C)CGL NEWS All Rights Reserved.
